

河川基金助成事業

「川のアクティブラーニング ～E S Dで取り組む「川の学び方」～」

助成番号：2018-6111-023

特定非営利活動法人 e-plus生涯学習研究所
代表者 小林由紀子

平成 30 年度

今年度の講座一覧

打ち合わせ

	日時	場所	実務者	人数	内容
	4月9日	長森南中学校 打ち合わせ	小林	4	5月の循環1年間の計画
	4月13日	吉里小学校打ち合わせ	小林	2	6月のカワゲラ1年間の計画
	4月16日	岐阜市立且格小学校	小林・岐阜市	6	1年間の計画
	4月19日	長森南中学校 打ち合わせ	小林	6	5月の郡上の計画
	4月25日	御嵩町役場	小林 御嵩町	3	7月水源林講座の打ち合わせ
	4月25日	美濃加茂市井深小学校	小林 美濃加茂市	5	6月の循環1年間の計画
	5月2日	水辺共生体験館	小林・笠松中井、 土方	3	笠松町秋休み打ち合わせ
	5月15日	水辺共生体験館	コープ	3	コープ打ち合わせ
	2月20日	各務原市立蘇原第一小 学校	学級担任	4	打ち合わせ
1	5月17日	岐阜市立長森南中学校	中学校1年	143	水質検査について・水の循環
2	5月30日	海津市立吉里小学校	小学校5年生	15	水の循環。「驚異の旅」
3	6月6日	羽島市立中央小学校	小学校5年	139	若狭研修のための海と川の話。2Rと マイクロプラスチックの海洋汚染。
4	6月7日	岐阜市立且格小学校	小学校5年	40	水の循環・生活排水の実験・各クラス 小林と岩井講師が1時間ずつ担当。
5	6月11日	美濃加茂市井深小学校	小学校4年	13	驚異の旅
6	6月22日	各務原市 水辺共生体験館	吉里小学校5年	15	水生生物調査
7	6月26日	羽島市立中央小学校	中央小学校5年	139	驚異の旅
	6月27日	郡上市立北濃小学校	小学3年生	3	授業について
8	7月11日	岐阜市立厚見中学校	中学校1年	102	温暖化と川の災害
9	7月13日	郡上市立北濃小学校	小学3年生	5	水の循環。「驚異の旅」
10	7月17日	郡上市立北濃小学校	小学生3年	5	水生生物調査
11	7月21日	御嵩町役場	公募の親子	18	水源林講座 親子18人(子ども11人)
12	7月24日	各務原市 水辺共生体験館	岐阜市科学館 子ども科学塾	49	水生生物調査と水の循環 親子49人(子ども25人)
13	7月27日 午前	各務原市 水辺共生体験館	コープぎふ・エコ ちゃんクラブ	49	水生生物調査。アメンボくん表面張力 の「アメンボくん」親子13組49名

14	7月24日 午後	各務原市 水辺共生体験館	公募	103 120	科学工作教室 「海と川のつながりストラップ」ストラップ40 「海と川のつながりブレスレッド」63 実験コーナー120人
15	7月27日	各務原市 水辺共生体験館	公募	45	工作教室 「海と川のつながりストラップ」45
16	8月25日	各務原市 水辺共生体験館	公募	517	ストラップ 113人 スライム 154人 実験コーナー250人 24日27日25日工作教室437名 実験・体験コーナー370名
17	9月19日	各務原市立 鵜沼第一小学校	小学校5年	93	川から海へ流れるごみ マイクロプラスチックも考える
18	9月25日	岐阜市立厚見中学校	中学校1年	102	水の循環
19	10月2日	岐阜市立長森南中学校 体育館	中学校1年	128	境川の生き物。川の安全教室。
20	10月2日	岐阜市長森南校区境川	中学校1年	128	境川生き物探検隊
21	10月4日	羽島市立 正木小学校	公募の親子	167	温暖化と防災の話
22	10月11日	各務原市 水辺共生体験館	公募の親子	10	水生生物調査
23	10月12日	笠松町笠松文化センター	公募の親子	40	森と川の恵みストラップとブレスレッドを作ろう
24	10月17日	各務原市立鵜沼第一小学校	小学校5年	93	「驚異の旅」アクティビティ体験学習
25	10月20日	美濃加茂市環境フェア	来場者	151	森と川の恵みストラップ 活動ポスター展示
26	10月31日	岐阜市立且格小学校	小学校5年	39	「みんなのトンボ池 ワークショップ
27	11月8日	美濃加茂市立 井深小学校	小学校4年	12	「みんなのトンボ池」ワークショップ 工作「森と川のつながりビーズストラップ」
28	11月10日	羽島市立中央小学校	小学校5年	128	「環境のつながり」の講座と科学工作教室（貝殻ストラップ）+
29	11月20日	e-komon まるごと環境 フェア	来場者	132	森と川の恵みストラップ。活動ポスター 工作教室132人
30	11月11日	岐阜市 まるごと環境フェア	来場者	247	森と川の恵みストラップ。活動ポスター とサイコロゲーム展示
31	11月23日	美濃加茂市	公募親子	45	自然の恵み教室 クリスマスリース

		みのかも文化の森			作り
32	12月11日	各務原市立 鵜沼第一小学校	小学校5年	93	「みんなのトンボ池」ワークショップ
33	12月14日	名古屋市丸の内 名古屋銀行協会	国、自治体担 当者・市民	40	中部未来の創造大賞授賞式
34	1月16日	岐阜市科学館 家庭科学講座	講座申込者	40	温暖化と川の防災、エネルギー エネルギーを考えるストラップづく り
35	1月18日	岐阜市立長森南中学校 武道館、学校周辺	中学校1年	143	「環境のつながり」の講座。「水のエ ネルギーを考える・足湯体験と地中熱 講座」
36	1月27日	東京大学小柴ホール	受賞者・来賓		活動発表
37	2月8日	海津市立吉里小学校	小学校5年	24	1年間のまとめ15プラス9
38	2月18日	各務原市立那加第二小 学校	小学校5年	92	「驚異の旅」アクティビティ体験学習
39	2月22日	養老郡 養老町立笠郷小学校	小学校5年	39	環境のつながりをテーマに 「学級発表」と「学年発表」
40	2月24日	可児郡御嵩町 御嵩小学校	町民	180	ポスター展示とストラップづくり
41	3月5日	各務原市立 蘇原第一小学校	小学校4年	185	森川海のつながりを知る「マイクロプ ラスチックの話」
			延べ授業参加者		3871名参加（打ち合わせを除く）


2018年12月14日 水環境学習「だれもが、いつでも、どこでも、環境を学ぶ場を作る～楽しく学ぶ～」
「中部未来の創造大賞優秀賞」を受賞した。


2019年1月27日 「水環境学習の体系化 体験学習のための教材作り」河川基金優秀成果受賞
代表理事が2018年10月26日「eco検定エコピープル大賞優秀賞」を受賞した。

長森南中学校プログラム

「身近な川から考える地球環境」。


前半：世界の水の循環を考える授業と郡上研修の水質検査の方法を習得する。地域の川の上流郡上市の長良川の水を大切に作る取り組みを研修しグループごとに郡上吉田川の水質調査を行う。秋には、午前中に川の活動安全講習と川の生物について。午後は支流である地域の境川の生き物調査を行い地域の川について知り考える。本年度は2人の自然観察指導員と岐阜大学教授、大学院生に指導を受けた。川についてみんなで考えたことや実践について環境新聞を発行した。1月には、NPO「地中熱研究会」に依頼し「エネルギーと水について」の講座と水で水を温めるヒートポンプを使った「足湯体験」を行った。

日 時	平成30年5月17日(水)	目 的	環境学習 水の循環を学ぶ、水質検査の学習
場 所	長森南中学校体育館	講 師	e-plus 生涯学習研究所
内 容	<p>中学校1年生の研修前の学習。郡上研修の事前学習として水循環と水質検査の授業を行う。学年を二つに分けて交互に授業を行う。水の循環の授業は体育館にて小林が担当した。水質検査の授業は柔剣道場にて岩井さんが担当した。「水の循環の授業」では水の希少性、貴重性について話し、人間と水分の関係をクイズで進めていく。一滴の水になったの「驚異の旅」のサイコロゲームで地球の水の大循環と身近な水の陸の循環について学んだ。森と川のつながりを郡上研修で行うので水をはぐくむ森の働きについても講義をした。子先輩からの申し送りがありこども達が驚異の旅の準備も後片付けもよく手伝ってくれた。143人全員で驚異の旅を行いました。</p>		
写 真			<p>5月27日28日の郡上研修 吉田川の水質検査。郡上市内の宗祇水、用水の様子を見学した。また、森とこれからの森について学ぶためバイオマスを使う明宝温泉施設を見学した。</p>

日 時	平成30年10月2日 午前	目 的	境川の生き物探しのための事前授業と安全確認
場 所	長森南中学校 体育館	講 師	e-plus 小林、自然観察指導員 岩井
内 容	<p>10月2日午前中3、4時間目に境川に住む生き物についての学習と観察の方法の授業を行った。今まで10年間で採取した魚や生き物の「境川図鑑」の紹介と川の安全について話した。今年は川の持ち物の確認と川に入る場合のフローティングベストの使用など安全面の諸注意を行った。</p>		

日 時	平成30年10月2日 午後		
目 的	校区の川を知る活動「境川生き物探検隊」		
場 所	長森南校区境川	講 師	自然観察指導員安藤、岩井、岐阜大学伊藤准教授、大学院生2名 岐阜土木事務所6人、岐阜市自然環境課3人、地域建設会社5人


内 容	午後1時半から川の観察を開始、あらかじめ岐阜土木事務所の協力により土手の草刈り、梯子4本をかけた。当日は岐阜土木事務所6人、建設会社ボランティア、自然観察指導員、環境カウンセラー岐阜大学伊藤先生、大学院生の指導体制で観察を行った。自然観察指導員岐阜大学の伊藤先生に同定してもらい生き物の生態について説明してもらった。カマツカ、オイカワ、カワムツ、ニゴイ、ヨシノボリなど種類が少なく小さなものが多かった。	
写 真		

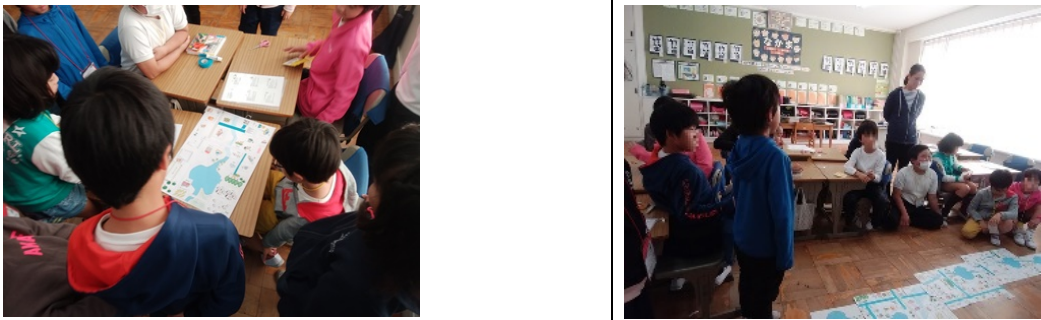
日 時	平成31年1月18日(金)午後	目 的	環境のつながりを知る
場 所	岐阜市立長森南中学校武道館	講 師	NPO法人岐阜地中熱利用研究会 e-plus 小林
内 容	水のエネルギーを伝える取り組み。長森南中学校の学習の取り組み環境のつながりを伝えるシンポジウム。長森南中学校の取り組みは川から現在の環境を知り、エネルギーを通じて持続可能な地球の未来を知る学習である。子ども達にとって川は身近な環境で自然や生き物について学ぶことは「今を知ること」であり「生き物」を通じて環境への感性を育てる。エネルギーは地球の持続可能性を左右する大きな問題であることを伝え自分たちの環境を守るために自分たちに今何ができるか、「将来の選択」を考える材料を用意した。		
写 真			

井深小学校 4年

「生き物を通じて地域の川を知る学習」プログラム

美濃加茂市の環境課の協力により学校近くの大洞川で年に2回の水生生物調査を行った。一昨年度より、水の循環の授業を加え昨年度より「みんなのトンボ池」のワークショップを始めた。大洞川の水生生物調査、5月の後に水の循環「驚異の旅」「川を汚したのは誰」で水の汚れを考える。数年前から大洞川に住み着いた国内外来種「オヤニラミ」を観察しているので生態系についても実地で学んでいる。11月にこれまでの活動をまとめることも目的に「みんなのトンボ池」のアクティビティを行い、「自分にできること」「人とつながってできること」を考えた。11月には授業発表会があり「協力して川を守る」ことを発表した。

日 時	平成 30 年 6 月 11 日 (月)	目 的	水の循環を学ぶ 水環境学習の体系化
場 所	井深小学校 4 年生教室	講 師	e-plus 小林、美濃加茂市環境課、
内 容	4 年生の総合的な学習の時間における環境学習の講義。1週間前に水生生物調査を行っている「地球をめぐる水の環境」を学ぶゲーム「驚異の旅」を行った。旅で巡った場所を示したワークシートを見ながら「世界中を回った」「海と雲しかなれなかった」など子ども同士が話し合っていた。水質検査は水の色が変わることで「川の汚れ」の度合いを示すことを伝えた。水生生物調査の時に説明を受けてもう一度確認をした。近くの川と水道水が同じ色に変わりの大洞川の水質の良さと生き物の関係を実感したようだった。		
写 真			


日 時	平成 30 年 11 月 8 日 (木)	目 的	1 年の学習のまとめ
場 所	美濃加茂市立井深小学校	講 師	e-plus 小林 生態系センター 岩井自然観察指導員 安藤 美濃加茂市
内 容	<p>水を大切に使い、生き物を守るために池を汚さないようにみんなで考えるワークショップ「みんなのトンボ池」をこの 1 年の学習を振り返るために行った。行った。トンボ池の水を汚さないように土地の利用者となって考えるシミュレーションゲームで 3 つのグループを作りそれぞれのトンボ池を汚さないように発表しました。発表の後、実はトンボ池が大きな川につながって水が流れていくことを床に作ったトンボ池を並べて説明しました。子ども達の発表ではこの点に驚き、家の人や周りの人に水を汚さないように呼びかけていくことが大切という意見がたくさん出ました。その後、森と川と海のつながりを表す携帯ストラップを作って活動を終わりました。</p> <p>昨年川と森のつながりストラップを昨年作った 5 年生が「水の学習は楽しかった。ストラップまだあるよ」と見せに来てくれました。水の学習を思い出してくれていると思い嬉しかったです。</p>		
写 真			


海津市立吉里小学校 5 年生

「水の大切さを学ぶ」「環境のつながりを知る」プログラム

前半：水の貴重性、希少性を学び世界の水の循環を考える授業を行う。海津市は木曾三川の合流する下流域のお中地帯であり、近くに子ども達が入れる川がない。河川環境楽園じゃぶじゃぶの河原で水生生物の調査を行う。川について学び、川の汚れと生き物の関係について知る。「川を汚したのは誰」で人間の生活と川の関係に気づ

き自分にできることを考える。秋には温暖化と水の関係などを学ぶ。2月には自分にできる川のためによりことを実践した子ども達の発表があった。

日 時	平成 30 年 5 月 30 日 (水)	目 的	環境学習「水の循環」
場 所	吉里小学校 特別教室	講 師	e-plus 小林
内 容	<p>中学校 5 年生の水の学習 授業は水の希少性、貴重性や人間と水分の関係をクイズで進めていく。「驚異の旅」のシミュレーションゲームを行うために「しずくの冒険」絵本を読んだ。次にサイコロゲームで一滴の水になってシールを張りながら旅をして水の循環を知る。ゲームの説明とシールを張ったワークシートで水の旅を振り返る</p> <p>来月の水生生物調査も楽しみになった。ワークシートで水が地球上をめぐる時間を大体どのくらいと伝えるととても興味を持ってくれてゲームは好評だった。</p>		
写 真			


日 時	平成 29 年 6 月 2 2 日 (金)	目 的	環境学習水生生物調査
場 所	河川環境楽園水辺共生体験館	講 師	e-plus 小林 自然発見館スタッフ 他
内 容	<p>じゃぶじゃぶの河原でのカワゲラウオッチングと川の水質についての学習しました。じゃぶじゃぶの河原で生き物にふれあうことを目的に水生生物調査をしました。時期的に指標生物は少なくトビケラ類とヌマエビが多く取れました。里小学校は海に近い下流域にあり、川の水量が多く危険なので近くの川の調査はできません。とても楽しい学習だったので、また家族と河川環境楽園に来るそうです。</p>		
写 真			

日 時	平成 30 年 2 月 8 日 (金)	目 的	1 年間のまとめ。前半の水の授業と後半の温暖化の授業をまとめて発表をした。
場 所	吉里小学校 特別教室	講 師	e-plus 小林
内 容	<p>総合学習「環境といのち」において、これまでの学習内容をパワーポイントにまとめた成果の発表。5 時間目は「水の学習」「温暖化について」の 2 つの班の発表と冬休みの取り組みの 2 人の発表を 4 年生の前で行った。4 年生は発表の内容についてのクイズに参加をした。その後子ども達の発表を聞いて環境のつながりについてコメントをした。「マイクロプラスチック」を通した川と海のつながりについて話した。環境問題と伝えた。紫外線について解説し、その後環境学習の思い出として UV ブレスレッドの工作を行った。</p>		



羽島市立中央小学校 5年生「環境のつながりを伝える学習」プログラム

地球温暖化、エネルギー、水環境、3Rを順に学び、11月の全校学習発表会で発表を行う。1学期にはごみとリサイクルと川と海について（海洋汚染と海の漂着物）学び若狭宿泊研修での学習に生かした。7月にはエネルギーについて取り組んだ。各クラスがテーマを決めて深めた学習を行った。11月の発表会までに交流学習会を行い、各テーマについての共通認識を高めていく。水の講座では驚異の旅で地球全体の水循環があることと、体の水分比や体を構成する食べ物を通じて人にとって水はかけがえのないものであることと大切な資源であることを話した。県の依頼で希少種イタセンパラをこの学年が飼育していたので生き物もつながりあについてと「生物多様性」の授業を行った。

時	平成30年6月6日（水）	目的	夏休みの調べ学習
場 所	羽島市立中央小学校 特別教室	講 師	e-plus 小林
内 容	温暖化若狭研修のための授業。海と川と森のつながりについて話。3Rについて4年生で学習をしているので、ごみをめぐる川と海のつながりを説明し、海の漂流ごみの話とマイクロプラスチックについて話した。海の生き物がごみやプラスチックで苦しめられていることを写真で知り心を痛めたようだった。		

日 時	平成30年6月26日（金）	目的	夏休みの調べ学習
場所	中央小学校 特別教室	講 師	e-plus 小林由紀子
内 容 写真	驚異の旅「水の循環」と「きれいな水もために私たちができること」の授業を1クラスずつ交互に行った。水を学ぶにあたり「水の循環」と「森と川の間」 「きれいな水もために私たちができること」をテーマに「水の循環」はプロジェクトWET「驚異の旅」、「きれいな水もために私たちができること」はプロジェクトWILD「川を汚したのは誰」を組み入れたアクティビティを行うことにした。驚異の旅の解説の後、「水をはぐくむ森」のパワーポイントで「森の働きと水」「森の生き物」を解説した。「とても楽しく学べた」と担任の先生方はとても喜んでいて。今回の学習では水と川について学び自分たちの生活と結びつけた。		




日時	平成 30 年 11 月 10 日 (土)	目的	環境のつながりへの理解を深める。
場所	中央小学校教室・特別教室	講師	e-plus 小林
内容	水の学習で行った森から海までのつながりと「環境のつながり」を考える工作を作った。森と川と海のつながりを「ビーズストラップにしよう」ウッドビーズや貝殻のビーズを使ってストラップを作った。水の性質をい「スライムづくり」もした。まとめの授業の折にストラップを見て「環境のつながり」の授業を思い出すその後はクラスごとに4つテーマで調べ学習や授業で深めていく。		
写真			

各務原市立鵜沼第一小学校 5年生
「水の循環」「驚異の旅」「トンボ池」プログラム

日時	平成 30 年 9 月 19 日 (水)		
目的	3R 川と海のつながりを知る		
場所	けやきの部屋	講師	e-plus 小林 自然発見館
内容	「ごみとリサイクル」3Rの意味と対策についてと「自分にできること」を考える。副読本（その4参照）マイクロプラスチックの影響について映像を見せて今ある話題の問題である海洋ごみの行方についても知る。		

日時	平成 30 年 10 月 17 日 (水)		
目的	水環境学習、水の循環		
場所	けやきの部屋	講師	e-plus 小林 自然発見館



内 容	<p>水の循環の学習を通じて水が貴重で希少なものであることを知る。水がどこで汚れるかどこできれいになるかを考え自分でできる水を大切にする方法や取り組みを考える。水の循環を知るためにサイコロゲームを行った。楽しみながら水について知り、自分事として水の問題を捉えられるように興味を持つゲームで楽しみながら学んだようだ。</p>	
-----	---	--


日 時	平成 30 年 12 月 11 日 (火)	目 的	水環境学習、水の循環
場 所	各務原市立鵜沼第一小学校 けやきの部屋	講 師	e - p l u s 小林 自然発見館
内 容	<p>川の水の汚れについて説明した後、水を汚さないように考える「みんなのトンボ池」のアクティビティを行った。このゲームは家、道路、公園、農園、牧場、工場、レストラン八百屋の代表者になり、トンボ池の水を汚さないように土地の利用者となって考え話し合っって街を作るシミュレーションゲームである。トンボ池の周りに自分のカードを置き話し合いながら土地利用を進める。11のグループでトンボ池を汚さないように話しあって発表した。役割カードを渡し首から下げ役割を確認しながら進めた。子ども達が20分で一生懸命考えた地図が完成した。それぞれの街づくりのポイントの発表の後、11枚のトンボ池を一直線に並べ、トンボ池がつながっていること、トンボ池が無数につながって大きな川になっていくことを説明した。子ども達は自分の町が汚さなくても上流が汚れていれば自分の町の水が汚れている。みんなが川の水を汚さないようにしないと川はきれいにならないと口々に話していた。「とても面白かった」「もう一度やりたい」という言葉がたくさんあった</p>		
写 真			

岐阜市立且格小学校 5年

「水の循環」「驚異の旅」「水生生物調査 2 回」「トンボ池」プログラム



日 時	平成 30 年 6 月 7 日 (木)	目 的	川や水を知る。地球をめぐる水の循環
場 所	岐阜市立且格小学校	講 師	e - p l u s 小林 生態系センター岩井

内 容	地球をめぐる水の循環 の学習を行った。「森から海まで流れる川」と「森の働きと水」について副読本を紹介し森から水を考える導入をした。これまで行った荒田川と大江川の水生生物調査で見つけた魚などの写真で授業を振り返った。「地球をめぐる水の環境」では水の貴重性、希少性や人間の体の水分量を学ぶクイズをして生活との関わりを学んだ。その後、「驚異の旅」のゲームを行い、地球の水について学習をした。まとめでは地球全体の水の循環の一部分しか見えないが、水と川で森や生き物とつながっていることを学習した。「きれいな水もために私たちができること」岩井辰水氏が担当		
写 真			

日 時	平成 30 年 10 月 31 日 (水)		目 的	水の学習のまとめ
場 所	岐阜市立且格小学校ワークスペース	講 師	e - p l u s 小林 自然発見館	
内 容	水生生物調査の体験が2回あるので生き物を大切にしたい気持ちが表れたトンボ池のゲームだった。トンボ池の1つ1つにみんなが知っている具体的な市の名称「郡上市」「美濃市」「関市」「岐阜市」「羽島市」など当てはめて説明をした。子ども達は岐阜市が汚さなくても上流が汚れていれば岐阜市が汚れ、下流への心づかいが大切だと知った。みんなが川の水を汚さないようにしないと川はきれいにならないと口々に話していた。 「もう一度やりたい」という子ども達が多かった			


郡上市立北濃小学校 3年生
「水の循環」「驚異の旅」プログラム

日 時	平成 30 年 7 月 13 日 (水)			
目 的	水環境学習 、水の循環			
場 所	郡上市立北濃小学校 けやきの部屋	講 師	e - p l u s 小林	
内 容	水の循環の学習を通じて水が貴重で希少なものであることを知る。水がどこで汚れるかどこできれいになるかを考え自分でできる水を大切にする方法や取り組みを考える。 水の循環を知るためにサイコロゲームを行った。楽しみながら水について知り、自分事として水の問題を捉えられるように興味を持つゲームで楽しみながら学んだようだ。			

日 時	平成 30 年 7 月 15 日 (水)		目 的	水生生物調査
場 所	郡上市立北濃小学校 近辺	講 師	e - p l u s 小林 自然観察指導員 岩井辰水	
内 容	豪雨のため川が氾濫して川での水生生物調査が不能になった。急ぎよ近くの農業用水で行った。カワゲラはじめきれいな水に住む水生昆虫、魚などの生き物が多く見つかった。水が冷たいので長く入っていられなかったのが残念だった。			
写 真				

その他の学校のプログラム

羽島市立正木小学校


日 時	平成 30 年 10 月 4 日 (木)	目 的	夏休みの課題 「環境学習
団体名	羽島市立正木小学校	講 師	e - p l u s 小林
内 容	温暖化と異常気象について話した。温暖化による川の洪水など川に近い羽島市での防災について話した。特に雷やゲリラ豪雨があった場合の対処と心構えを日ごろからすることが大切である。水の実験と座学の体験学習を行った。		

(まとめの授業に参加)

各務原市立那加第二小学校 5年 「水の循環」「驚異の旅」プログラム

日 時	平成 31 年 2 月 18 日 (月)	目 的	水環境学習 、水の循環
場 所	ひばりホール	講 師	e - p l u s 小林 自然発見館
内 容	<p>地球をめぐる水の循環の学習を行った。</p> <p>水が貴重で希少なものであることを知る。水の循環を知るために「驚異の旅」のサイコロゲームを行った。一滴のしずくになって地球をめぐり地球の水について学習をした。</p> <p>自分事として水の問題を捉えられるよう「川を汚したのはだれ」の実験を行うと私たちの使う生活排水が川を汚すことを知り驚いたようだった。「今日初めて知ったことが多かった」「楽しかった」という感想があった。</p> <p>「きれいな水もために私たちができること」を先生と考えてほしいと結んだ。</p>		


養老町立笠郷小学校 5年 「水の循環」「驚異の旅」プログラム

日 時	平成 30 年 2 月 22 日 (金)	目 的	川や水を知る。地球をめぐる水の循環
場 所	養老町立笠郷小学校ワークスペース	講 師	e-p l u s 小林
内 容	<p>地球をめぐる水の循環の学習を社会科の授業として行った。3時間目・水の循環の学習を通じて水が貴重で希少なものであることを知る。地球の水や身近な川について知る。水の循環を知るために「驚異の旅」のサイコロゲームを行う。4時間目「きれいな水もために私たちができること」として「川を汚したのは誰」のアクティビティを通じて水がどこで汚れるかきれいになるかを考え、水を大切にする方法や取り組みをできるように話した。まとめの授業なので楽しみながら水について知り、これからも自分事として川を観察してほしいと結んだ。ゲームや絵本を「楽しかったもう一度やってみたい」という感想が多くあった。</p>		
			

各務原市立蘇原第一小学校 4年

日 時	平成 31 年 3 月 5 日 (月)		
場 所	各務原市立蘇原第一小学校	講 師	e-plus 生涯学習研究所 小林
目 的	水の循環を学ぶ 水環境学習の体系化「プロジェクトWET 驚異の旅 座学と実習」		
内 容	<p>今年は川とごみについて学習した。この2つの環境問題は別の問題ではない。近くの境川のごみが海に与える影響を今話題になっているマイクロプラスチックから考え、これから自分たちができることを考えよう。環境対策としての3Rについてリデュース・リユース。リサイクルの順番やリサイクルのためのマークの意味を説明した。川と海はつながっておりこれをきちんと行うことが海洋汚染の原因であるマイクロプラスチックを少なく擦ることにもつながる。</p> <p>まとめの授業のみ</p>		



自治体と協働イベント 御嵩町と笠松町の協力で行った「環境学習講座」と「環境科学工作講座」

日 時	平成 30 年 7 月 21 日 (土)	目 的	森と水を伝える「水源林教室」
場 所	可児郡御嵩町 御嵩町役場	講 師	e-p l u s 小林、生態系センター岩井
内 容	<p>昨年度岐阜県林政部で行った講座内容を御嵩町のエコ講座として開催した。水環境学習の体系化として「水の循環」「水のクイズ」、「川を汚したのは誰」を行った。森から川までの物語を聞きながら、水槽に一人ずつ汚れの模擬水を入れていく、川がどのように汚れるかを目で確かめることができる。水道水と川の水の比較を行った。その後マーブリング工作を行った。</p>		
写 真			

河川環境楽園水辺共生水辺共生体験館で行った「環境学習講座」と「環境科学工作講座」

当NPOが拠点としている各務原市河川環境楽園水辺共生体験館で「水」をテーマに買う種の講座を開催しました。今年の特徴は学習内容を定着させるために五感を使った学習プラス工作講座で「作ったものを見て環境の話の思い出そう」です。「水面をイメージした光の講座」「表面張力を活用したアメンボくん」「水を使った和紙のマブリング工作」など楽しいことと環境学習を結びつける効果があったと思います。


岐阜市科学館 子ども科学塾


日時	平成30年7月24日(火) 午前	目的	「じゃぶじゃぶの河原」水生生物調査 水の性質を知る科学工作
団体名	岐阜市科学館 岐阜子ども科学塾体験研修	場所	水辺共生体験館 セミナールーム他
講師	e-plus 小林、岩井、土方 他1名		
内容	午前9時より 水生生物調査を行い、セミナールームで 生き物の同定を行った。ウズムシなどきれいな水にいる水生生物が見つかり、きれいな水と判定された。今年もヌマエビが多くとても多かった。「水の循環」「驚異の旅」の講座を行いその後 UV ビーズの海と川のつながりストラップを作った。とても満足した様子だった		
写真			

コープぎふ えこちゃんクラブ


日時	平成30年7月27日(金) 午前	目的	「じゃぶじゃぶの河原」水生生物調査
場所	水辺共生体験館ワークショップ	講師	e-plus 小林、自然観察指導員 岩井、ぎふSEEN他1名
内容	コープ水生生物調査とアメンボくん午前9時半より 水生生物調査を行った。家族連れで人数が多いため2部制で行った・その後、セミナールームで 生き物の同定を行った。今年もヌマエビが多くとても多かった。ウズムシなどきれいな水にいる水生生物が見つかり、きれいな水と判定された。講座の中ではじゃぶじゃぶの河原にいる多くいるアメンボについてのお話もあった。アメンボはカメムシの仲間ですってやると昔の目のにおいがするところから名前が付けられたことや水の表面張力をうまく使って動いていることを聞いた。もっと水に入っていたかった、とても楽しいという意見が多かった。		
写真			

笠松町教育委員会 キッズウィーク

日 時	平成 30 年 10 月 11 日 (木) 午前		
目 的	「じゃぶじゃぶの河原」水生生物調査	場 所	水辺共生体験館
団体名	羽島郡笠松町中央公民館		
講 師	e - p l u s 小林、自然観察指導員 岩井、		
内 容	笠松町のキッズウィーク初めての試みだった。多くの参加者を期待したが、時期が空きで平日で親子の講座ということもあり残念ながら参加者が少なかった		

日 時	平成 30 年 10 月 11 日 (木) 午前		
目 的	森と川のつながりを知る	場 所	笠松町文化センター
団体名	羽島郡笠松町中央公民館	講 師	e - p l u s 小林
内 容	森と川のつながりの話の後ビーズ工作教室を行った。工作教室がビーズを使うので母子、祖母と一緒に子供が多く楽しそうにストラップを作っていた。笠松町は今年小学校が前期後期の2期制になりその間のキッズウィークのお休みの環境親子教室として初めての試みだったので注目された。またキッズウィークの取材に中京テレビが参加した。特集が1週間後放映された。		

岐阜市科学館家庭科学講座

日 時	平成 31 年 1 月 16 日 (水)	目 的	「気候変動と防災について」～緩和策と適応策～
団体名	岐阜市科学館家庭科学講座	場所	岐阜市科学館
講 師	e - plus 生涯学習研究所 小林由紀子		
内 容	「温暖化と防災」について話した。昨年の岐阜県は異常な高温であり、1000 mmを超える豪雨があり大きな災害を引き起こした。岐阜市は大きな川だけでなくその視線が多くあり、自分の住む土地が昔どのような土地であったかを知って水害や土砂崩れなどに備えることが必要である今年の夏の豪雨について、ゲリラ豪雨など最近の急な天候の変化の場合に自分の行動を考えておくことが必要だと講義をした。今の気候変化を招いた温暖化を防ぐために、日ごろどのような活動をすればよいかエネルギーからのアプローチを行った。		

イベント 河川驚樂園・美濃加茂市環境フェア・岐阜市まるごと環境フェア・御嵩町環境フェアに参加した。

日時	平成 30 年 7 月 2 4 (火)、2 7 日 (金) 午後		
目的	森と川のふしぎ講座 環境を考える科学工作		
場所	水辺共生体験館	講師	e-plus 会員及び子ども工作指導者
内容	7 月 24 日 27 日はストラップづくりを行った。8 月 25 日は水辺共生体験館全館を使い、ストラップづくり、シャボン玉、スライムづくりなどを行ってたくさんの参加を得た。コーナーごとに説明者が「アメンボくんは表面張力」「スライムは水の性質」「ストラップは森と水のつながり」のお話をした。		
写真 スライム コーナー			
写真 ストラップ コーナー			
シャボン玉 科学 実験 コーナー			
アメンボくん コーナー			

環境講座の写真については別記

日付	場 所：連携	人数
平成 30 年 7 月 21 日午後	御嵩町役場北館 5 階 協力：御嵩町環境モデル都市課	親子 18 人（子ども 11 人）
7 月 24 日午後	河川環境楽園 協力：ぎふ SEEN	ストラップ 40 人 ブレスレッド 63 人 実験コーナー120 人
7 月 27 日午前	河川環境楽園 水生生物調査 協力：コープぎふ	親子 49 人 （子ども 25 人）
7 月 27 日午後	河川環境楽園水辺共生体験館 協力：ぎふ SEEN	ストラップ 45 人
8 月 25 日全日	河川環境楽園水辺共生体験館 協力：ぎふ SEEN	実験コーナー620 人 スライム 154 人 ストラップ 113 人
11 月 23 日	川と森の恵み講座リース作り	延べ参加人数 親子 45 名
延べ参加人数	ものづくり 482 名 実験・体験コーナー740 名	

各地環境出展フェアの写真については別記

平成 30 年 10 月 20 日	美濃加茂市 ekomon まるごと環境フェア 美濃加茂市平成記念公園	川と森の恵みのストラップ 工作コーナー 参加人数 132 名
平成 30 年 11 月 11 日	岐阜市まるごと環境フェア 岐阜市メディアコスモス	川と森の恵みのストラップ 工作コーナー 参加人数 247 名
平成 31 年 3 月 20 日	御嵩町環境フェア	川と森の恵みのストラップ 工作コーナー 参加人数 180 名
延べ参加人数	川と森の恵みのストラップ工作コーナー 559 人	

助成番号	助成事業名	所属・助成事業者氏名
2018-6111-023	川のアクティブラーニング ～E S Dで取り組む「川の学び方」～	特定非営利活動法人 e-p l u s 生涯学習研究所

主な実施箇所 各務原市 河川環境楽園

※活動を数カ所で実施している場合は、代表的な箇所を1カ所程度記載してください。



助成事業の主な実施箇所

※シンポジウムや講演会等は、会場の名称を記載してください。
案内のチラシがある場合は、添付してください。

※冊子の作成等の場合は団体の所在地を記載してください。

ポスターA1 (チラシA 4配布)

近景

7/21

第1回「川と水のふしぎ」教室

しずくちゃんと さぐる 水のふしぎ

日時: 平成30年7月21日(土)13:30~15:30
 場所: 御嵩町役場
 定員: 親子15組 30名まで
 申込: 御嵩町 環境モデル都市

川と水のことを知っていますか
 地球の「水の循環」を楽しいゲームで学ぼう
 「川の恵み紙でマップリングしよう」
 講師: 小林由紀子・岩井辰水

問合せ:e-plus生涯学習研究所 小林
 TEL 090-7028-4468
 info@eplus2.jp.n.org

主催: (特非)e-plus生涯学習研究所
 協力: 御嵩町環境モデル都市推進室
 協力: 環境・岐阜県教育委員会



親子 18 人 (子ども 11 人) 御嵩町役場北館 5 階
 協力: 御嵩町環境モデル都市課

7/24 午後

第2回「川と水のふしぎ」教室

川と森のふしぎ 工作教室

午後からだよ

日時: 平成30年7月24日(火)13:30~15:30
 場所: 河川環境楽園 水辺共生体験館
 定員: 各30組 60名まで
 申込: 不要 先着順
 当日受付に名簿に記入してください

地球の「水の循環」を知ろう
 「森と川と水のつながり」アスレッドを作るよ
 講師:e-plus生涯学習研究所

問合せ:e-plus生涯学習研究所 小林
 TEL 090-7028-4468
 info@eplus2.jp.n.org

主催:(特非)e-plus生涯学習研究所
 協力:ぎふSEEN
 協力:未曽川河川上流事務所
 後援:岐阜県教育委員会



ストラップ 40 人 ブレスレッド 63 人
 実験コーナー120人 河川環境楽園
 協力: ぎふ SEEN

7/27 午前

第2回「川と水のふしぎ」教室

しずくちゃんと さぐる 水のふしぎ

日時: 平成30年7月27日(金)13:30~15:30
 場所: 河川環境楽園 水辺共生体験館
 定員: 15組 30名まで
 申込:

川と水のことを知っていますか
 地球の「水の循環」を楽しいゲームで学ぼう
 「森と川と水のつながり」アスレッドを作るよ
 講師: 小林由紀子・岩井辰水

問合せ:e-plus生涯学習研究所 小林
 TEL 090-7028-4468
 info@eplus2.jp.n.org

主催:(特非)e-plus生涯学習研究所
 協力: コープぎふ



親子 49 人 (子ども 25 人) 河川環境楽園
 水生生物調査 協力: コープぎふ

7月27午後

第3回「川と水のふしぎ」教室

しずくちゃんと さぐる 水のふしぎ

日時：平成30年7月27日(金)13:30～15:30
 場所：河川環境楽園 水辺共生体験館
 定員：15組 30名まで
 申込：e-plus生涯学習研究所

川と水のことを知ってしまえば
 地球の「水の循環」を楽しいゲームで学ぼう
 「森と川と海のつながり」アスレッドを作るよ
 講師：小森由紀子 岩井麗水

問合せ：e-plus生涯学習研究所 小林
 TEL 090-7028-4468
 info@eplus2.jpn.org

主催：(特非)e-plus生涯学習研究所
 協力：コープぎふ
 協力：木曽川河川上流事務所
 後援：岐阜県教育委員会



ストラップ 45人 河川環境楽園水辺共生体験館
 協力：コープぎふ

8月25日全日

第4回「川と水のふしぎ」教室

川と水のふしぎ 工作と実験

日時：平成30年8月25日(土)10:30～15:30
 場所：河川環境楽園 水辺共生体験館
 定員：各75組 150名まで
 申込：不要

地球の「水の循環」を知ろう
 「森と川と海のつながり」ストラップを作るよ
 水に浮かぶ「はし」がね「アメンボク」
 色いろいろ「スライム」つくろ!
 「シャボンだま」や「水の実験コーナー」もあるよ

講師：e-plus生涯学習研究所

問合せ：e-plus生涯学習研究所 小林
 TEL 090-7028-4468
 info@eplus2.jpn.org

主催：(特非)e-plus生涯学習研究所
 協力：ぎふSEEN
 協力：木曽川河川上流事務所
 後援：岐阜県教育委員会



実験コーナー250人 スライム 154人
 ストラップ 113人 河川環境楽園水辺共生体験館
 協力：ぎふSEEN

河川基金ロゴ等表示状況写真



延べ参加人数

一般

ものづくり 437名
 実験・体験コーナー 620名

スタッフ・事務局

26名

	ポスターA1 (チラシA 4配布)	近景		
美濃加茂市 ekomon まるごと環境フェア				
延べ参加人数	一般	132名	スタッフ・事務局	3名
岐阜市 まるごと環境フェア				
	岐阜市メディアコスモス			
延べ参加人数	一般	247名	スタッフ・事務局	4名
美濃加茂市 11月23日 リース作り				
	みのかも文化の森工作室			
延べ参加人数	一般	30名	スタッフ・事務局	2名
マスコミ等の反響	市のHPに掲載			
御嵩町				
延べ参加人数	一般	180名	スタッフ・事務局	4名

